

○「障がい」の表記について

法律名、団体名等固有の名称を除き「障害」は「障がい」と、「害」を「がい」とひらがな表記します。

(例) 障がい者福祉センター、身体障がい者福祉センター など

○委員名の表記について

障がい当事者あるいはそのご家族である委員のプライバシーの保護の観点から、また、委員は団体等を代表としてご参加いただいていることから、発言者の名称には、団体名等を掲載します。

1. 開催日時 令和3年11月25日(木) 13:30~15:30

2. 開催場所 市役所4階 会議室S5・6 (オンライン併用)

3. 出席団体名

和洋女子大学(会長)、社会福祉法人なゆた(副会長)

千葉商科大学、浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ、浦安市聴覚障害者協会

浦安手をつなぐ親の会、社会福祉法人敬心福祉会、社会福祉法人サンワーク

社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも、社会福祉法人佑啓会、NPO法人千楽 chi-raku

NPO法人ワーカーズコープ、株式会社徳正、浦安市社会福祉協議会

千葉県立市川特別支援学校、福祉部、こども発達センター、教育研究センター

4. 議題

(1) 部会活動報告について

(2) 合同部会開催について

(3) その他

5. 資料

議題(1)資料 部会活動報告

## 6. 議事

事務局：ただいまより、浦安市自立支援協議会を開催します。

議事に入る前に、会議の進め方について確認させていただきます。

自立支援協議会及び部会は、会議を公開し、議事録もホームページで公開いたします。特に個人情報に係る発言等につきましては、充分なご配慮をお願いします。

なお、議事録には発言者が所属する団体名を記載いたします。

また、ご発言の際にお願いしたいことがございます。

当協議会におきましては、聴覚障がいのある方、視覚障がいのある方が委員として参加されております。ご発言の際は、ゆっくりお話しくださるよう、お願いいたします。進行が速いようでしたら、恐れ入りますが、手話通訳の方よりお知らせください。

Zoomでご参加の方は、ご発言の際には、カメラに向かって挙手又は、画面下のチャット機能等をご利用いただき、発言をする旨をお知らせください。会長の「〇〇委員お願いします」の発言のあとに団体名と氏名を述べていただき、その後、発言をお願いします。委員の方や事務局に発言を求める場合は、「〇〇委員にお聞きします。」、「事務局にお聞きします」など、発言を求める相手方をお伝えください。なお、発言者以外の方は、原則、マイクをミュートにしてください。

それでは、今後の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

会長：それでは議事進行務めさせていただきます。今年度は本会の前に幹事会を設けさせていただいて、各リーダー、サブリーダーの皆様方にご負担をかけているのですが、本会議の前の段階で、各部会報告なども詳細にご報告いただいて、そこで様々なコアメンバーの意見交換をさせていただいております。今回の部会資料は、それらを反映したものになっているかと思います。幹事会の内容は議事に入らないので、議事に残すために、あえて私のほうから発言することがあるかもしれませんが、皆様の忌憚のない意見をよろしくお願い致します。

それでは、本日の議事に入りたいと思います。本日の議題は3件ございます。まずは、議題1 部会活動報告についてです。報告については、何についてどのような議論があったのか、その結果、どのような結論に至ったのか、継続審議で単なる報告なのか、意見が聞きたいのかなどを意識して報告していただきたいと思います。はじめに地域生活支援部会について、報告をお願いします。

社会福祉法人佑啓会：地域生活支援部会について報告させていただきます。部会は10月26日に開催しました。まずは、本会での報告をさせていただきました。また、その中で、地域生活支援部会は今年度に大きなテーマが2つあります。まずは浦安市内で暮らすこと、もうひとつが災害時等への体制についてです。災害対策について、委員の方から災害時要支援者リストの管理体制について質問があり、行政の立場から現在の状況についてご報告いただいております。その中で、自治会で管理をしているところ、全く管理や活用はしていない自治会がありました。またそのリストが最新版になっていないケースもあるということで、有事の際に活用できるのか確認する必要があるという話になりました。またこのテーマについては、福祉分野だけで話をしても一向に進まないで、委員の方から担当部署との連携ができな

いかという話があり、それは可能ということだったので、他部署との連携を強化していき、実態把握と今後どのような体制ができるのか検討していくことになりました。

続いて暮らしの場については、実態調査をするところから始めようということになっております。リーダー、サブリーダー、事務局でアンケートのたたき台を作成しました。こちらは参考資料に添付されております。このアンケートについて、部会委員の方々にお伺いしたところです。その中で色々なご意見いただきましたが、一番大きなところが、アンケートを進めていく中で、「いいえ」と答えると、それ以降のアンケートが止まってしまう設問形態になっているので、なぜ「いいえ」になったのか明確にすることで、議題について進めるための良い材料が浮かび上がってくるのではないかと話がありました。そこについては精査していきますが、こちらは部会だけでは作りこめないで、作業部会のような形で作ることができればと考えております。

また、グループワークで災害について話し合いを行い、色んな立場の方々から様々な意見をいただきました。障がいの種別によって、必要な物が違うなどの色々な意見がでたところですが、多かった意見は、災害時に何をしてもらえないかわからない、障がい者側から助けを求めづらいなどでした。こちらも福祉分野だけでは話が進まないで、自治会や防災の部署などと細かい話を詰めていく必要があると思われました。地域生活支援部会の報告は以上です。

会長：ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問やご意見はありますか。

よろしいですかね。もし何か言い残したことがあれば、おっしゃってください。

続きまして、権利擁護部会についてご報告をお願いします。

社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも：第2回権利擁護部会は令和3年10月15日に開催しました。内容は報告事項として、第2回自立支援協議会の協議内容の報告をさせていただきました。これについては、質疑応答なく審議終了ということで部会の委員に報告して終わっております。

続きまして第1回権利擁護部会の振り返りを行い、今年度、来年度に続く権利擁護部会の運営とゴール設定ということで、長期的な視点に基づき、権利擁護部会が達成する目的は何かということで、目的の共有の時間を少しいただき、今年度は8050問題の実態調査を行うということで、皆さんと共有・確認をして審議終了となっております。

ここまでで権利擁護部会としては終了して、後半は作業部会ということで8050問題の実態把握に向けた統計調査について、3班に分かれてグループワークをしております。本日の参考資料にあります8050問題の実態把握アンケート調査概要はリーダー、サブリーダー、事務局で作らせていただいて、それを元に委員のそれぞれの立場からご意見をだしていただいております。このグループワークの目的としては、アンケート調査をすることは、合意がとれておりますので、どういう調査項目で、対象を誰にして、どのようなアンケート調査にするかという作業部会となっております。

主な意見は、部会活動報告内容に書かれている以上に多岐にわたりました。印象的な意見としては、アンケートを行うこと自体が8050問題の意識を高めるということ。相談支援に繋がりにくい問題だからこそ、支援者の方、関係機関の方にひろっていただき、啓発活動になるのではないかとご意見あ

りました。また、8050 問題の定義を明確化した上で、定義が明確化された設問になっている方がよいのではないか。どの世代の親子をターゲットするのか、色々でてきました。色々でてきた背景は、部会の構成メンバーは、様々な方がいらっしゃいますので、その現場感と主観に基づいて、意見が活発にでたことは良かったのですが、アンケートをまとめていく実務で考えていくと、意見をグループ化しても散発的な印象が拭えない状態なので、アンケート設問用紙を作っていくには、非常に課題は多いなと難しさを実感した作業部会でもありました。この難しさを実感した件について、幹事会で会長に報告したところ、一度プレ調査をしてみてはどうか、実際にアンケート用紙を作って、調査を行うターゲットを少し狭くして、その結果を元に本調査の用紙を作っていく方がよいのではという助言を頂きました。数を把握する目的の調査なのですが、個人情報の壁で重複の問題をどうするかなどの疑問、質問がでてくるため、プレ調査を元に整理したいと思っていますところです。当初、2月に3回目の部会の作業部会、アンケート調査用紙を叩いて、出来上がったという目論見ではあったのですが、プレ調査をして客観性が、調査項目で伴うかどうかを確認して、本調査という流れになるかと思うので、工程を見直す必要がでてきたところです。権利擁護部会の報告は以上です。

会長：ありがとうございました。今朝、まさに基幹相談支援センターの連携会議で8050問題を取り扱い、木曜日の朝の時間にも関わらず、ものすごい人数が集まって、足りなさをえなかったという話を聞いて、8050問題の関心が高まっていると感じたところです。

総合相談でニーズキャッチすることが大事ですが、基幹、地域包括、こども部局、生活困窮が、横に繋がる必要があるだろうという話はでていました。

各部会がアンケート調査をして、分析することで課題を抽出して、それに対して対応策を考えていくという意味では、部会がワークしていると感じております。

ただいまの説明について、ご質問やご意見はありますか。浦安手をつなぐ親の会、お願いします。

浦安手をつなぐ親の会：このアンケート調査は大変良いのですが、回収が難しいことなどがあり、どのように調査するのかがポイントになると思うのですが、他の自治体でやっているところはあるのかネットで調べたところ、つくば市で同じようなアンケートを令和3年2月に行っています。その方法は民生委員にヒアリングをされていますが、浦安市ではどのように調査をするのかお聞きしたいです。

社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも：今、想定している調査先が支援機関ということで、各地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、基幹相談支援センター、相談支援事業所、市の総合相談窓口、健康増進課を想定していたのですが、作業部会では、民生委員、NPO法人ニュースタート、中核地域生活支援センターがじゅまる、当事者団体などを入れるべきではないかと意見が多岐にでて収集がつかないため、相談した段階です。調査ターゲットを明確にして、80世代、50世代の両方からアプローチした時に何が見えてくるのか、プレ調査で分析してみてもいいのかなと思いました。民生委員は地域についてよくわかっている方達で、引きこもりの状態にある方達について情報交換する場が月1回あるということなので、調査対象に加えるのも検討しており、少し整理していければと思っています。以上です。

会長：浦安手をつなぐ親の会、よろしいでしょうか。

浦安手をつなぐ親の会：はい。

会長：そのほかご意見ご質問ありますでしょうか。

はい、ありがとうございます。続けてまいります。

就労支援部会のご報告をお願いします。

NPO法人ワーカーズコープ：11月1日月曜日に第2回就労支援部会を開催しました。議題はその他を含めて4つありました。

議題1 第2回自立支援協議会の協議内容を委員に報告しております。

議題2 令和3年度第1回就労支援部会の振り返りということで、こちらも委員の皆様にご報告をして、質疑等はありませんでした。

議題3 障がい者就労支援に係る支援や制度等についての情報共有というテーマを設けさせていただいております。(1) 特別支援学校における進路決定のカリキュラムや就職後の支援について、特別支援学校の委員より説明をいただいております。(2) 浦安市重度障がい者等就労支援特別事業について事務局より説明いただきました。(3) パーソルサンクス(株)新浦安ビジネスサービスセンターの開所について、新浦安駅前に新しく特例子会社ができるので、会社の方に事業内容など説明いただきました。この3つが主な議題になりました。

(1)については、出席している特別支援学校は、主に一般就労、就労系の進路を選択している、知的障がい、精神障がい手帳をお持ちの生徒さんが主な学校です。主な意見としては、マッチング問題、卒業後の定着率、通勤事情で就職を諦めているか等の質問を受けて、先生の方に回答していただいている流れがありました。最近ではコロナによりできていないのですが、学校のイベントである文化祭や体育祭に卒業生が来るだけで、近況確認できるので生徒と先生の関係が続いていけばと改めて思いました。

(2)については、私も制度を理解していないので、事務局に説明いただけてよかったです。この事業自体になかなか対象者がいなく、実施している事業所もない。千葉県でも取り扱いがないため、具体的な話はでてこなかったですが、今後この制度を使われる方、計画を作成される方、企業の方、事業所の方に幅広く周知していく内容なのかと実感しました。

(3)については、先ほど話したとおり、参加されている企業の紹介なので省略させていただきます。

就労支援部会は、新しく出来た部会なので、今年度は地域課題を洗い出すことを主にやらせていただいております。そして課題を整理して、最終的にまとめることが今年度の流れになるのかなと思っはいるのですが、出席されている委員の皆様は、様々な立場であることから活発な意見いただいております。最終的にまとまっていないのが正直なところです。先日、幹事会で会長から場合によっては、立場でテーブルを分けてもいいのかなとアドバイスいただきまして、今後、まだまだ地域課題を洗い出す作業だと思うのですが、グループワークなどを入れながら進めていければと思っております。報告は以上になります。

会長：ありがとうございました。浦安市重度障がい者等就労支援特別事業ですが、制度としてややこしくて、理解するのが大変となっております。12月6日14時から千葉市のイベントになるのですが、この制度のオンライン研修をウェビナーでやります。こちらは是非参加していただければと思っておりますので、事務局に情報提供しておきます。

東京都でおそらく第1号になっているALSの方がご出演されます。厚労省の担当部局の方が直接、制度の説明や質疑応答するイベントになっているので、是非参加いただければと思います。

ご意見ご質問ありますでしょうか。

浦安手をつなぐ親の会。

浦安手をつなぐ親の会：私も就労支援部会に参加していますが、浦安市重度障がい者等就労支援特別事業は分かりづらいので、ウェビナー参加したいと思います。

パーソルサンクスの新しい事業所が出来るという説明があったかと思うのですが、市内に特例子会社が増えるのは良いことなのですが、以前、ワークステーション内の、リクルートスタッフィングが入っているところを見学させていただいたのですが、働いている障がい者の方で浦安市民の割合が低いという現状があると思っています。ワークステーションは浦安市が所有しているため、市民の税金が使われているが、働いている障がい者が浦安市民でないことが残念だなと思っております。働いている障がい者の方で、浦安市民の割合が増える環境づくりができればと、希望ですが思っております。

会長：ありがとうございました。そのほかご意見ご質問ありますか。

続いてこども部会のご報告をお願いします。

教育研究センター：こども部会は11月9日に実施しました。

議題1 第2回自立支援協議会の協議内容の報告をさせていただきました。

議題2 第1回こども部会の振り返りとゴール設定について、2点あります。

①「保護者と関係機関がこどもの情報を共有するために作成することを目的に作られたサポートファイルの利用状況について実態把握する」、②「各機関の支援事例や支援できることを情報共有し、連携の強化を図るとともに、浦安市の現状と課題を把握する」となりました。これにつきましては、質疑はなく、審議終了となりました。

議題3 サポートファイルの概要、利用状況調査の実施と調査概要(案)について事務局より説明をいただき、委員から意見をいただきました。これについては、本日の配布資料P53に実施スケジュール、P54に実施内容について記載してありますので、ご確認ください。サポートファイルのアンケートについては、紙をファイリングしていきますので、年数が経つと重くなってくる。医療機関では電子カルテになっており、医療機関を受診する際に、サポートファイルを持参して一から見ていただくのは、短い診療時間の中で、たくさんの情報を伝えなければならなく、紙媒体の難しさがあるため、紙から電子化した方が良いとの意見いただきました。他市町村では、アプリ化することで使いやすさを考えた取り組みをしているため今後検討していきたいです。

サポートファイルの配布はこども発達センターで行っており、使い方、記録の仕方、情報の扱い方をその場で教えています。教育と福祉の連携ということで、サポートファイルは、福祉の場面ではこども発達センターで作成しているが、学校に入る時はそれがどうなっているのかと言いますと、サポートファイルを持参する保護者の方とそうでない方がおります。まなびサポートが、サポートファイルを入学時に持ってきてくださいとお伝えはするのですが、その後、学校のほうにサポートファイルが引き継がれているのか確認が曖昧な点がありまして、教育側でもサポートファイルの活用を意識していくことが大切であると思っております。今後、ご意見いただきアンケートを調整しながらサポートファイルの活用を促していけたらと思っております。

続いて2点目ですが、サポートファイルの後に作業部会ということで、グループワークを行いました。グループワークの内容は、発達に心配のあるこどもやその家族への支援ということで、それぞれのライフステージにおいて、参加して下さっている皆様からどのような支援ができるのか、または必要なのかそれぞれの立場からご意見をいただきました。乳幼児期は、発達相談や検査などを行って療育に繋がっていくことや障がい受容が話題になりまして、保護者の方がなかなか相談に行けないことが課題に挙がりました。そういったことから保育園・幼稚園の先生の情報も少なくなっているのではないかとということで、保護者の方に寄り添っていくなど考えていく必要があるとのことでした。

小学校・中学校では、放課後等デイサービスなど沢山の機関がありますが、保護者の方に伝えきれていないのではないかとということで、活用について周知や支援を考えていきたいです。

高校の話にも及びまして、県立学校の進級指導の充実が図られている話をいただきました。青年期でも障がいという言葉が壁になっているということが挙げられました。最近は、障がいという言葉ではなく基幹相談支援という形でその言葉を使わなくても、支援を行う場があるという話をいただきまして、私自身もなるほどと思いました。知らないために適切な情報を伝えることができないことがありますので、こういう場に参加したことをきっかけに正しい情報を皆様にお伝えしたいと思いましたが、教育委員会の中でも伝えていけたらと思っております。以上、こども部会の報告でした。

会長：ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご質問やご意見はありますか。

社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも、お願いします。

社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも：サポートファイルの実態調査をすることが前提になっているということは、現状あまり活用されていない問題意識があるということでしょうか。相談支援事業所は障がい事業課に年に1回、配布数を報告しているのですが、あまり相談支援事業所からは配られてないのですかね。当センターが配布する枚数は少ないのですが、今回のサポートファイルを実態調査しようと思った問題意識があれば教えていただきたいです。

また、教育領域にある方々が、どこまでサポートファイルをご存じで、どのように福祉を知る手立てとしてお使いになっているのかわかれば教えていただきたいです。というのも福祉サイドから見ると教

育との連携が非常に難しいので、サポートファイルが連携面について助けるツールになっているのかどうか知りたいです。

事務局：最初の質問についてお答えさせていただきます。今回、実態調査をしたいと思った経緯ですが、先ほどおっしゃっていたとおり年に1回、相談支援事業所様に調査させていただきまして、配布数について把握していますが、その後、どのように活用されているのか市でも把握できていない状況でして、支援を繋げていくために大事なツールだと思っておりますので、今、活用されているのかされてないのか、活用されているのであればどのように活用されているのか、活用されていないのであれば、何が壁になっているのかそういったところをこの調査を通じて何か把握ができたらと思っております。また、来年度、サポートファイルをどのようにしていくかの協議に繋げていきたいと考えております。以上です。

教育研究センター：二点目の質問についてお答えさせていただきます。学校では必ずサポートファイルを持参してくださいと声を掛けているのですが、すべての方が持参しているわけではないです。ホームページに記載されているのですが、特別支援教育実践マニュアルNo.22 というのがあります。学校でつくる個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成する際に、お持ちの方は持ってきてくださいと声掛けはさせていただいております。現実はどうかと言うと、私が以前、勤めた学校で、小学校に入るときに持参してくださった方がいたので、学校で支援計画を作成する時に担任が見て、学校側が活用したということはありません。中学校に上がる際には、小学校での記録、短期計画、長期計画について作成したものをに入れて、保護者の方に渡して、それを中学校に持参していただくことがありました。そのようなケースは珍しくて、意識が高い方だと思いました。多くの方がそのような形で活用できれば、切れ目ない支援を行えると思うのですが、教員側にとっては、個人情報が入っているファイルになり、扱い方も気を使うので、保護者の方との密な連携を大切にしていかなければと思っております。2・3年目の先生の研修会では、年に1回必ず紹介はさせていただいております。今後も色々な場で紹介していきたいなと思いましたが、今日話す内容を教育研究センターで共有して、電子化について検討を始めたところです。

会長：ありがとうございます。

いつも情報の共有ところでは難しさがあると思います。分野を超えた教育、福祉、医療で言うと、情報共有することで、そちらの支援が悪かったからこうなったというような攻撃材料になることがあってはならないなど、情報共有する上で、ルールを決めるべきだと思うところがあります。

もうひとつの個人情報の話は、医療機関や事業所の都合で、これ個人情報だからという話があるのですが、本人や保護者が了解していれば秘匿する必要はないので、そこは整理する必要があると思います。いずれにしてもサポートファイルは、小学校に上がる時には、重くて持てないといったことを考えると電子化は必須の課題だと思っております、これが上手くいくと、こどもの支援がライフステージに応じて、昔からの情報が繋がり適切な支援が受けられるので、そこを目指すべきだと強く思いました。

他にご意見ご質問ありますか。

それでは続きまして本人部会の報告をお願いします。



事務局：今年度の本人部会は知的障がいや身体障がいのある方、合計3名で構成しています。第1回は令和3年11月5日金曜日に開催しました。議題は3つに分けて話し合いました。

議題1は自立支援協議会と部会の運営についてです。事務局より自立支援協議会と部会について説明し、会議の進め方について話し合いました。会議の進行を委員と事務局のどちらが担当するか話し合い、今期は委員の中からリーダーを設けずに進行は事務局が行うことになりました。こちらについて意見、質問はありませんでしたので、審議終了となりました。

議題2は浦安市の地域課題についてです。委員のこれまでの経験や、日ごろ感じていること、浦安市の障がい福祉について課題だと思うことについて3つの項目に分けて意見を伺いました。

(1)は障がいへの理解についてです。この項目では次のような意見が述べられました。障がいを隠して生活していると嫌な思いをすることが多い。具体的には周りよりも仕事のスピードが遅いと馬鹿にされるなどです。また電車の改札でICカードを取り出すのに手間取っていると舌打ちされる。さらに、自身に障がいがあることが恥ずかしいと感じていたが、誰でも障がい者になりうるため、より一層理解の促進を図るべきだという意見をいただきました。

(2)は日々の暮らしや生活、利用している福祉サービスについてです。障がいを隠しながら家族だけで介助しようとする人は一定数いると思うが、みんな平等にサービスを受けられるということを知ってほしい。また、生活の中で助けをを求めることを意識しているという意見がありました。

(3)はお仕事についてです。障がい者であっても正規で雇ってくれたら良いと思う。また、困っていることはないが、できないことは言う、無理をしないというマイルールを守りながら働いており、それは障がいの有無には関係がないと思うといった様々な意見をいただきました。

協議の結果、継続審議、自立支援協議会へ報告するということになりました。

最後に議題3は災害時の課題についてです。事務局が補助しながら災害対策チェックキットを作成しました。災害時に必要な備えを一緒に確認し、情報共有を行いました。1人の委員に事務局が1人ずつ隣で説明しながら作成していましたが、1人で作成するのは難しいと感じました。また、家族で作成すると、より効果的ではないかと思いました。災害対策チェックキット作成を通して見えてきた課題の詳細については、次回話し合う予定です。主な意見としては、携帯電話が繋がらず、連絡がとれない場合の家族の取り決めが明確でないことが課題だと思う。また、ライフラインの停止などは自分の備えだけでは対策できないと思う。さらに、普段の備蓄が足りていないことや避難場所を知らないことに気がついたなどの意見をいただきました。協議の結果、継続審議、自立支援協議会へ報告することになりました。本人部会の部会活動報告は以上です。

会長：ありがとうございました。

ただいまの説明についてご意見ご質問ございますか。

よろしいですかね。

合同部会について事務局より説明をお願いします。

事務局：当日資料でお配りしたカラーのチラシ1枚が資料となります。令和4年1月19日に本年度の合同部会として、精神科医の先生をお招きして、講演会を開催します。当初、9月に開催を予定していましたが、コロナ禍ということもあり、講師の先生と相談して、できれば対面式ということで調整を進めておりました。来年1月19日の開催に向けて最終調整しております。会場は東野パティオの2階会議室を使用予定となっております。時間は質疑応答含めて午後2時から90分程度と考えております。なお、広報につきまして年明けの1月1日号、ホームページは12月1日より周知を図る予定です。

委員の皆様におかれましては、来月の中旬頃を目途にメールで出席の可否について確認をさせていただく予定ですので、どうぞよろしくお願い致します。コロナ禍のため会場の制限はございますが、一般の方も含めて許す限り、是非ご清聴いただきたいと思っております。以上で説明を終わります。

会長：ありがとうございました。

ただいまの説明についてご意見ご質問ございますか。

続いて議題3にまいります。

その他について事務局より説明をお願いします。

事務局：障がい者等歯科診療所の立ち上げ整備を進めており、前回、愛称募集についてお知らせさせていただきましたが、選考の結果が出ましたので報告します。10月1日から15日の間で募集して、17作品の応募がありました。その中から市の担当が候補作品を選定して、立ち上げに協力していただいております。浦安市歯科医師会にも意見を伺いながら、最終決定をしました。選出結果として最優秀作品に「ひだまり歯科室」という作品が選ばれました。選定理由として、日の当たる明るい暖かい場所が連想できて、みんなが通いたくなる診療所になってほしいという思いに共感したことからこの作品を選定しております。愛称については、この作品を元に一部手直しをさせていただき、最終的に「ひだまり」で決定させていただきました。来年1月8日にオープンの予定で動いております。予約制になりますので予約方法の詳細は、広報うらやす1月1日号やホームページでお知らせをする予定になっております。以上です。

会長：ありがとうございました。

ただいまの説明についてご意見ご質問ございますか。

大丈夫ですかね。

先ほど言いました重度障がい者就労支援のチラシを事務局の方にはお送りしたのですが、カメラを通してお見せしておきたいと思えます。

ごめんなさい、浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ、お願いします。

浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ：「ひだまり」というのは高齢者向けに作るのか、障がい者向けに作るのかどちらなのでしょう。

事務局：こちらは障がいのある方向けなのですが、その中でも障がいの特性などから市内の歯科診療所に通えない方を対象として、障がいについて知識のあるお医者さん、歯科衛生士さんをお呼びする体制を整えております。利用できる方としては、具体的な例ですが、市内診療所で歯科治療が難しい方で身体障が

い者手帳1、2級や療育手帳をお持ちの方、児童発達支援や放課後等デイサービスを利用されている方などを対象としております。以上です。

会長：よろしいでしょうか。ありがとうございます。

そのほかございますか。

なければ先ほど私が言っていたチラシなのですが、今、映していただいているのがホームページですかね。雇用施策と福祉施策の連携による重度障がい者等の就労支援について学ぶというものになっていて、講師が豪華メンバーでして、厚労省の障がい者雇用対策課ということで労働と福祉の両部局が来ていただけます。その他、実際の重度障がい者の方にもご参画いただくということで、この機会に浦安市でも第1号を誕生させるためにご参加いただければと思います。Zoomウェビナーによる参加ですが、申し込みに関しては、QRコードから入ってもよろしいですし、下のアドレスからも入れます。申し込みの締め切りは11月30日火曜日となっております。まだ間がありますので、自宅からどうぞ参加していただければと思います。追加のご案内でした。

事務局どうぞ。

事務局：報告になるのですが、12月3日から障がい者週間があります。それに先立って、市の庁舎1階のおさんぽバスが止まる入口の方と、立体駐車場があるロータリー側に、それぞれ障がい者週間を啓発するラミネートを今朝、貼りました。お時間ありましたら、しばらく掲示しておりますので、是非ご覧いただければと思います。今、スクリーンに映している立体駐車場の方は、パラリンピックで活躍された市民の方をモチーフで入れさせていただいた、オリジナルの作品となっております。お帰りがけに見ていただければと思います。以上です。

会長：ありがとうございます。私も駐車場から降りた時に見させていただきましたが、浦安市民の車椅子ラグビー選手、バスケット選手いらっしやっただけですね。

それでは、本日の議題は以上になりますが、皆様方から何かございますか。

浦安手をつなぐ親の会、お願いします。

浦安手をつなぐ親の会：手前味噌の件で恐縮ですが、障がい者週間の話がありましたが、私どもも12月5日に写真展を企画しております。市からも後援をいただいたのですが、障がいのある子と母・父の写真展というテーマで、写真家の葛谷舞子さんという20年来、障がい者の家族写真を撮っている方の写真展と、有料ですが希望があれば親子で撮影会を実施してまいりたいと思っております。写真展は無料でご覧いただけますので、12月5日（日）10時から16時まで東野パティオの4階第9会議室で行っておりますので、是非お立ち寄りいただければと思います。よろしくお願い致します。

会長：ありがとうございます。こちら是非、参加いただければと思います。

その他ございますでしょうか。

社会福祉法人サンワークをお願いします。

社会福祉法人サンワーク：最後にすいません。部会活動報告から色々聞いていて思ったことのひとつとして、8050 問題、暮らしのこと、地域生活支援拠点において、各部会で話されていることは、その部会だけになっていると思うのです。よくよく考えていくと、色んなところで8050 問題、住まいの場について市内でも会議が行われていると思います。せっかくであればそういうものを集約して、それを地域課題にもっていけるシステムを作れないのかなと話を聞いていて思ったところです。たまたま私の事業所の職員が、話を聞いていて、ここでも同じような会議やるのなら、皆で話せる場を作った方がよいのではという意見がありました。各事業所の勉強会とかはいいと思うのですが、集まるメンバーや会議体をもう少しシンプルにしていけると浦安のためになるのかと個人的な意見ですが、感じたので発言させていただきました。

会長：前向きなご意見ありがとうございます。他市では8050 部会という、そのテーマのみで部会を作っています。アンケート調査などが終わったら一旦閉じて、次のテーマに移り、それに関する人が集まるといったプロジェクト型の部会になります。浦安で部会をどうするか検討する時に、私、それも提案させてもらったのですが、当面は今の形でいきたいとのことでした。ただし、例えば権利擁護部会では、テーマを予告していますので、そこに関連する皆さんは、オブザーバーみたいな形で入ってきていただければいいのかなと思います。オブザーバーだけ意見を言える立場で参加してもらえれば、部会も活性化してくると思います。是非、部会のリーダー・サブリーダーの皆様方は、参加希望者を受け入れていただいて、部会を活性化していただければと思っております。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

そのほかございますか。それでは、最後に事務局から連絡等ありましたらお願いします。

事務局：次回の協議会ですが、年間予定表では、年明けの1月20日となっておりますが、会議開催1か月前までに特定のテーマがなければ、会長と相談の上、協議会はお休みさせていただき、2月24日を予定していますので、よろしくをお願いします。

会長：ただいまの説明のとおり、次回の協議会については、特定のテーマがなければ、1月20日はお休みとなり、令和4年2月24日に開催予定となります。テーマお持ちの方は事務局に連絡していただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして、第3回自立支援協議会を終了します。本日は、お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。

令和3年11月25日(木)  
午後1時30分～午後3時30分  
市役所4階 会議室S5・6

浦安市自立支援協議会(令和3年度第3回)次第

- 1 開会
- 2 議題
  - (1) 部会活動報告について
  - (2) 合同部会開催について
  - (3) その他
- 3 閉会

# 部会活動報告

- ・第2回地域生活支援部会
- ・第2回権利擁護部会
- ・第2回就労支援部会
- ・第2回こども部会
- ・第1回本人部会



	<b>協議結果</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 審議終了 <input type="checkbox"/> 継続審議 <input type="checkbox"/> 自立支援協議会へ（報告・審議） <input type="checkbox"/> その他（                      ）
③	<b>議題</b>	暮らしに関わる実態把握について
	<b>協議内容</b>	<p>第1回部会で障がいのある方の住まいに関する意見が多く出たことを受けて、浦安の暮らしに関わる実態把握調査を行うこととした。事前に送付した調査票案をたたき台として、委員それぞれの立場から意見が述べられた。</p> <p>（主な委員意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート対象者数は何人くらいか。 →通過型GH入居者は17人、現在のGH入居者は約70人、GH待機者は50人弱の方を対象としている。個人が特定できないよう考えたい。</li> <li>・ルビを振った方がよい。満足度、何が困っているのかを聞いてほしい。選択肢により、設問が選びやすいようにしてはどうか。 事業所アンケートでは、何がミスマッチなのかを聞いてほしい。</li> <li>・アンケートでもそのように、各機関で情報を共有できるようにすると良い。</li> <li>・GH入居者には、入居を決めた理由、現在、世話人さん、支援員さんにとどのような支援をしてもらっているのか聞いてはどうか。入居希望者向けには、市内に空きがあるとは思いますが、空きがあるけど入居していない理由、GHで希望する支援内容を聞くと具体的になっていくのではないかな。</li> <li>・いいえの理由を聞いていくのが大切。うまくいっていない所を集めるのが大事ではないか。</li> </ul>
	<b>協議結果</b>	<input type="checkbox"/> 審議終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続審議 <input checked="" type="checkbox"/> 自立支援協議会へ（報告・ <del>審議</del> ） <input type="checkbox"/> その他（                      ）
④	<b>議題</b>	（作業部会）地域との関わり方について
	<b>協議内容</b>	<p>各所属（団体・事業所・個人）における、地域の方（自治会や近隣住民の方）との関わり方で、工夫している点や課題などについて、グループワークを行い、各グループから議論した内容を共有した。</p> <p>自立支援協議会（本会）で紹介された、『自分でつくる安心防災帳～災害対策チェックキット～』を参考資料として配布した。</p> <p>（主な委員意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者からの自治会の方、近所の方へ連携したいと言いつらい。自治会の方が認識してもらえそうな働きかけ、周知、啓発が必要ではないか。</li> <li>・難しいケアが必要な方の福祉避難所までの支援をどのようにするか。</li> <li>・避難所の役割など事前に確認準備が必要。</li> </ul>
	<b>協議結果</b>	<input type="checkbox"/> 審議終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続審議 <input checked="" type="checkbox"/> 自立支援協議会へ（報告・ <del>審議</del> ） <input type="checkbox"/> その他（                      ）



## 部会活動報告

<b>部会名</b>	令和3年度 第2回権利擁護部会	*作業部会(有)
<b>日時</b>	令和3年10月15日(金) 午後1時30分～午後3時30分	

### ■報告事項

①	<b>議題</b>	第2回自立支援協議会の協議内容の報告
	<b>協議内容</b>	10月7日開催の第2回自立支援協議会について事務局より報告。内容は第1回の各部会の報告と基幹相談支援センターからの地域課題の報告。 質疑は特になし。
	<b>協議結果</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 審議終了 <input type="checkbox"/> 継続審議 <input type="checkbox"/> 自立支援協議会へ(報告・審議) <input type="checkbox"/> その他( )
②	<b>議題</b>	令和3年度第1回権利擁護部会の振り返り
	<b>協議内容</b>	リーダーより前回の振り返りが行われた。議題3「令和3年度権利擁護部会の運営とゴール設定について」について、今年度は8050問題の実態調査を行うこと、今回は調査内容について作業部会で議論することが説明された。 質疑は特になし。
	<b>協議結果</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 審議終了 <input type="checkbox"/> 継続審議 <input type="checkbox"/> 自立支援協議会へ(報告・審議) <input type="checkbox"/> その他( )
③	<b>議題</b>	(作業部会)8050問題の実態把握に向けた統計調査について
	<b>協議内容</b>	<p>本市における「8050問題」の全体的な実態把握を目的とした統計調査を実施するにあたり、「8050問題の定義」や「調査先」、「調査項目」「発生している課題の詳細」などについて、事前に送付した調査票案をたたき台として、委員それぞれの立場から意見を出し合うグループワークを行った。各グループで議論した内容を共有した。非公開会議としておこなったが、個人情報を含まない意見については次の通り。</p> <p>(主な委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査先については、回答が重複する可能性はあっても広くとった方がよい。</li> <li>・アンケートそのものが8050問題に対する啓発になる。</li> <li>・対象者がすでにつながっている支援機関を記載する項目がほしい。</li> <li>・8050問題の定義を明確化する(仕事や学校にいかず家族以外と6か月以上交流なく自宅で過ごしている、サービスや相談に繋がっていない等)。</li> <li>・「子が40歳以上の親子」という案になっているが、どの世代の親子でもよいのではないか。</li> <li>・キーパーソン(同居していない家族等)について記載する項目がほしい。</li> <li>・専門用語の注釈(ひきこもり、社会的孤立)がほしい。</li> <li>・親世代側の課題について記載する項目がほしい。</li> </ul>



	<p>業に向けて本人・保護者とすり合わせていく。</p> <p>実際の求人とのマッチングもあり、希望職種に就職する率は市川大野の場合60～70%程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤事情のために就職をあきらめることもあるのか。 →通勤圏の求人を複数の特別支援学校の進路指導教諭で共有して、企業開拓をみんなで行っている。</li> <li>・就職後の定着率はどの程度か。また、定着支援の効果をどう捉えているか。 →離職率は一般雇用とさほど変わらない。アフターフォローの効果については、企業訪問だけでなく「いつでも相談していい」「同窓会などでつながりを感じる」という点が本人の支え、強みになっている。</li> </ul> <p>2. 浦安市重度障がい者等就労支援特別事業について、事務局より説明を行った。</p> <p>(主な委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この制度の利用要件である「週10時間以上の就労」をしたとして、それ以外の時間はどう過ごすのか。就労日以外の生活介護の併用などはできるか。 →対象者がなかなかいない。まずは制度の認知を進めていく必要があり、その過程で課題点や使い勝手の面の議論が進んでいく。</li> </ul> <p>併用については、地域生活支援事業との併用は可。一部の生活介護事業所の併用も可。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週10時間の就労のために付き添いができるヘルパー事業所は現実的にあるのか。 →もともと長時間のヘルパー利用をしている人が、そのヘルパーの介助を得てそのまま職場に行くことができる、という発想の制度。</li> </ul> <p>3. パーソルサンクス(株)新浦安ビジネスサービスセンターの開所について、同社担当者より説明があった。</p> <p>質疑は特になし。</p>
	<p><b>協議結果</b> ■審議終了 □継続審議 □自立支援協議会へ(報告・審議) □その他( )</p>
④	<p><b>議題</b> その他</p>
	<p><b>協議内容</b> ワークステーションパンフレットについて周知。</p>
	<p><b>協議結果</b> ■審議終了 □継続審議 □自立支援協議会へ(報告・審議) □その他( )</p>

## 部会活動報告

<b>部会名</b>	令和3年度 第2回こども部会	*作業部会(有)
<b>日時</b>	令和3年11月9日(火) 午後1時30分～午後3時30分	

### ■報告事項

①	<b>議題</b>	第2回自立支援協議会の協議内容の報告
	<b>協議内容</b>	10月7日開催の第2回自立支援協議会について事務局より報告。内容は第1回の各部会の報告と基幹相談支援センターからの地域課題の報告。 質疑は特になし。
	<b>協議結果</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 審議終了 <input type="checkbox"/> 継続審議 <input type="checkbox"/> 自立支援協議会へ(報告・審議) <input type="checkbox"/> その他( )
②	<b>議題</b>	第1回こども部会の振り返りとゴール設定について
	<b>協議内容</b>	第1回で、各委員の所属での「こどもの支援に関する現状や課題」について情報共有を行ったことを受けて、今年度は、以下の項目について協議を行うこととする。 ①保護者と関係機関がこどもの情報を共有するために作成することを目的に作られた「サポートファイル」の利用状況について実態把握をする。 ②各機関の支援事例や支援できることを情報共有し、連携の強化を図るとともに、浦安市の現状と課題を把握する。 (主な委員意見) 特になし。
	<b>協議結果</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 審議終了 <input type="checkbox"/> 継続審議 <input type="checkbox"/> 自立支援協議会へ(報告・審議) <input type="checkbox"/> その他( )
③	<b>議題</b>	サポートファイルについて
	<b>協議内容</b>	「サポートファイル」と「特別支援教育実践マニュアル」の概要、利用状況調査の実施と調査概要(案)について事務局より説明し、委員から意見が述べられた。 (委員からの質疑) ・こども発達センター(にじいろ)で入園前にサポートファイルの作成支援をしていると聞いているが、どのような方法で実施しているのか。 →利用開始前に配布し、使い方や記録してほしい情報について説明しているが、その後、どこまで記入や資料を綴っているのかは把握できていない。 ・教育研究センター(まなびサポートの就学相談)でサポートファイルの記載の案内などはしているのか。 →保護者が持ってきた場合には記載内容を確認しているが、記載の案内はしていない。今後検討していきたい。

	<p>(主な委員意見)</p> <p>①調査先 (以下の機関を追加すると良いのではないか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どもから成人まで利用者がいる「日中一時支援事業所」</li> <li>・ 千葉県の療育支援事業や就学相談を提供している事業所</li> <li>・ 周知も含めて、保育園・幼稚園</li> <li>・ 医療機関</li> </ul> <p>②アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持ち運びが大変なのと、紙の資料は数年経つと膨大な量になり、そこから必要な書類を抜き出すのは非効率。保護者がどの場面で利用していることが多いのかを調査すると良いのではないか。</li> <li>・ 医療機関は、短い診察時間の中でサポートファイルを見るというのが難しい。医療機関の診察に必要な情報は何かを調査すると良いのではないか。</li> </ul> <p>③その他 (②での意見を基に、)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者がよく使う情報を一部電子化にできないか。</li> <li>・ 医療機関の診察時間は短いので、電子カルテと連携できるようなアプリ化などができると良いのではないか。</li> </ul>
	<p><b>協議結果</b></p> <p><input type="checkbox"/> 審議終了    <input checked="" type="checkbox"/> 継続審議</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 自立支援協議会へ (報告・審議)    <input type="checkbox"/> その他 ( )</p>
④	<p><b>議題</b></p> <p>(作業部会) 発達に心配のある子どもやその家族への支援について</p> <p><b>協議内容</b></p> <p>各所属の連携の強化と、浦安市の現状と課題を把握するため、「周囲からは発達が気になると思われているが、まだ障害者手帳を取得していない子どもとその家族」を対象として、グループワークで「支援事例や支援できると思われること」など意見交換し、各グループで議論した内容を共有した。</p> <p>(主な委員意見)</p> <p>①乳幼児期 (就学前)</p> <p>《支援していること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達相談や発達検査・心理検査を行い、療育につなげている。</li> <li>・ 障がい受容ができるように保護者と話し合いを重ねたり、地域資源の情報を提供している。</li> </ul> <p>《あれば良いと思う支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「障がい」という言葉があるためになかなか相談に行けない保護者がいるとともに、幼稚園や保育園の先生も情報が少なく困っている現状がある。困ったことがあれば相談できるという情報を届けられたら良いと思う。</li> <li>・ 1歳6か月や3歳健診の時に、母子保健課から子ども発達センターへのつながるケースがほとんど。民間の事業所やその他の情報を伝えるツールがあると良い。</li> </ul> <p>②小学生・中学生</p> <p>《事例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者が障がい受容ができていないために放課後等デイサービスを知らな</li> </ul>



## 部会活動報告

部会名	令和3年度 第1回本人部会	*作業部会 (無)
日時	令和3年11月5日(金) 午後2時~午後3時30分	

### ■報告事項

①	議題	自立支援協議会と部会の運営について
	協議内容	自立支援協議会と部会について説明し、会議の進め方について話し合った。今期はリーダーを設けず、進行は事務局が行うこととなった。
	協議結果	<input checked="" type="checkbox"/> 審議終了 <input type="checkbox"/> 継続審議 <input type="checkbox"/> 自立支援協議会へ(報告・審議) <input type="checkbox"/> その他( )
②	議題	浦安市の地域課題について
	協議内容	委員のこれまでの経験や、日ごろ感じていること、浦安市の障がい福祉について課題だと思うことについて意見が述べられた。 (主な委員意見) 1 障がいへの理解について ・障がいを隠して生活していると嫌な思いをすることが多い。 ・電車の改札でICカードを取り出すのに手間取っていると舌打ちされる。 ・自身に障がいがあることが恥ずかしいと感じていたが、誰でも障がい者になりうるため、より一層理解の促進を図るべきだ。 2 日々の暮らしや生活、利用している福祉サービスについて ・障がいを隠しながら家族だけで介助しようとする人は一定数いると思うが、みんな平等にサービスを受けられるということをわかってほしい。 ・生活の中で「助けを求める」ことを意識している。 3 お仕事について ・障がい者であっても正規で雇ってくれたら良いと思う。 ・困っていることはないが「できないことは言う」「無理はしない」というマイルールを守りながら働いており、それは障がいの有無には関係ないと思う。
	協議結果	<input type="checkbox"/> 審議終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続審議 <input checked="" type="checkbox"/> 自立支援協議会へ(報告) <input type="checkbox"/> その他( )
③	議題	災害時の課題について
	協議内容	事務局が補助しながら「災害対策チェックキット」を作成した。災害時に必要な備えを一緒に確認し、情報共有を行った。次回、課題を話し合う予定。 (主な委員意見) ・携帯電話が繋がらず、連絡がとれない場合の家族との取り決めが明確でないことが課題だと思う。 ・ライフラインの停止などは自分の備えだけでは対策できないと思う。 ・普段の備蓄が足りていないことや避難場所を知らないことに気がついた。
	協議結果	<input type="checkbox"/> 審議終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続審議 <input checked="" type="checkbox"/> 自立支援協議会へ(報告) <input type="checkbox"/> その他( )